

嘉村儀多 おんら 小説家。明治二十年十一月十五日山口縣生れ。昭和八年十一月二十日没（一九七一九三）。縣立山口中學校中退。大正十五年
中村武羅夫等の雑誌『不同調』記者、昭和四年『近代生活』創刊同人、
翌年新興藝術派俱樂部に加入する。『私小説の極北』と評せられた作品
二十餘を遺した。

著書『崖の下』（昭和五年四月七日新潮社「新興藝術派叢書」）、『途
上』（昭和七年八月二十日江川書房）、『嘉村儀多全集』全二卷（廣
野浩・小林秀雄・中村武羅夫
津和郎・堀木克二・横光利一編、昭和九年五月十五日・九月五日白水
社）、『秋立ちまで』（昭和十五年十一月二十日創元社「創元選書」）、
『嘉村儀多集』（山本健吉編、昭和十五年七月十五日新潮社「新潮
文庫」）、『秋立ちまで他二篇』（昭和二十八年九月二十日岩波書
店「岩波文庫」）等。

文獻、太田静一著『嘉村儀多一人と作品』（昭和二十一年十一月二十
日瀬生書房）等。

